



鳥取和牛オレイン55を使った料理を試食するブランド化女子会のメンバーたち＝25日、鳥取市河原町小畑の小畑交流館

女性視点で県産農産物PRを発想 「ブランド化女子会」発足

女性の視点で鳥取県産の農水産物のPR方法を検討してもらおうと鳥取県は25日、多田野で活躍する女性で構成する「ブランド化女子会」を立ち上げた。この日は鳥取市河原町小畑で鳥取和牛の産地見学と試食会を行い、生産や調理法などに

いて知識を深めた。県産食材の高付加価値化や大都市圏での知名度向上に向けた取り組みの一環。マスコミや観光業などで活躍する県民メンバー6人と県職員7人が参加している。

この日、メンバーは和牛生産農家の谷口達雄さん(59)の農場を訪問し、牛舎を見学。和牛の質を高めるための肥育手法や飼料の選び方などについて谷口さんから説明を受けた。

その後、近くの集会施設「小畑交流館」に移動し、県産牛肉の流通事情や県がブランド化を進めている「鳥取和牛オレイン55」の特長について学んだ。試食会には平井伸治

知事も参加。オレイン55を使ったサーロインの赤ワイン煮や牛フィレの細巻きなど4品に舌鼓を打った。

県民メンバーで雑誌編集者の岩世麗さん(46)は「生産者と流通業者の連携がしっかりしており、鳥取には安心安全の土台があると思った。若いメンバーの感性を引き出すよう頑張りたい」と意欲を見せていた。

同女子会は今後7回にわたって現地調査や検討会を開催。来年1月中旬を目標に行動計画案をまとめ、県や農業団体などでつくるブランド化プロジェクト

会議に提出する。